

美和集落支援だより NO.31 (令和7年11・12月号)



～下畑地区～



今年度、新たな取り組みとして、下畑交流館に併設する体験農園を活用した「さつまいもの栽培体験」をスタートしました。

6月の苗植えから見守ってきたさつまいもが収穫の時期を迎え、10月25日に参加者13名と一緒に「さつまいもの収穫体験」を実施しました。

当日は、下畑地区の皆さんにもご協力いただき、土の中にある芋を傷つけないように慎重に掘り進めると、さつまいもが次々と姿を見せ、子どもから大人まで歓声が上がりました。地域の皆さんと交流しながら、笑顔いっぱいの収穫体験となりました。

11月
15日(土)
▼
22日(土)

私自慢の写真展・作品展です。
手づくりの作品も展示します。

私のじまん展

毎週土曜日
せせらぎ朝市
8:00～12:00
キッチンせせらぎ
9:00～11:00

時間：9:00～12:00
場所：下畑交流館 入場無料
主催：下畑地区ふるさとづくり推進協議会



11月15日～22日の8日間、下畑交流館内で「私のじまん展」を開催しました。

写真家さんをはじめ、地域内外の方々が「私の自慢」をテーマに、写真や手づくり作品など193点を出品。期間中には約211名の方にご来場いただきました。

今回は、下畑地区の皆さんの日頃の活動を撮影した写真も多数展示され、来場者からは「地域の魅力が詰まった写真がいいですね」といった声が寄せられ、地域の方々の思いや取り組みを発信する良い機会となりました。

～長谷地区より～

長谷みどりの会と美和中学校の和紙づくり事業

トロロアオイの収穫(1年生の活動)



三椏の刈り取り(1年生の活動)



三椏の皮剥ぎ・黒皮剥ぎ(2年生の活動)



異物取り(2年生の活動)



今年で11年目を迎えた「和紙づくり事業」。

長谷地区の和紙づくりは原料に三椏(みつまた)を使い、原料をつなぐ役割としてトロロアオイを使用しています。この2つの原料を長谷みどりの会と生徒が協力して育ててきました。今回は、在校生が取り組んでくれた作業の様子をご紹介します。

まず、1年生はトロロアオイと三椏の収穫を行いました。トロロアオイの根の洗浄では、根のすき間にある土や石を取り除きます。洗っているとネバネバとした液が出てくるため、擦りすぎないように注意しながら慎重に作業してくれました。三椏の収穫では、ノコギリや剪定ばさみを使って刈り取りを行いました。

2年生は、三椏の皮剥ぎ・黒皮剥ぎそして異物取りを行いました。三椏の皮剥ぎは、蒸された三椏の皮を剥ぎ、剥いだ皮の表面となる黒皮をナイフでそぎ落とし、天日干しました。異物取りでは、漂白された原料にも黒い異物が残るため、原料を確認しながらピンセットで取り除いていきます。どちらの作業も根気のいる作業でしたが、生徒の皆さんは地域の方々とおしゃべりを楽しみながら、笑顔で取り組んでいる姿が印象的でした。今年は長谷地区や坂上分校での収穫分も合わせて、約100kgの三椏を収穫しましたが、様々な工程を経て最終的に和紙の原料として残ったのは、わずか約5kgでした！多くの手間と時間をかけて仕上げられたこの貴重な原料は、3年生が行う紙漉きへと引き継がれていきます。次回は、その様子をお伝えしたいと思います。

